

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0791
施設名	キッズタウンにしおおい
施設所在地	東京都品川区西大井2-5-21
法人名	社会福祉法人こうほうえん

1. 活動のテーマ

自然【見つけよう！触れてみよう！】

<テーマ設定の理由>

保育室にある図鑑を見て、春に咲く花や虫について興味を示していた。友達や保育者と図鑑を見ている中で、「いま〇月だからこの花咲いてるんじゃない？」「図鑑を持って探しに行きたい！」と子ども達から声があった。当園には桜の木やレモンの木、キウイ・サクランボなどの果実が実る木々を育てていて、日頃から子ども達は植物を観察したり触れてみたりして遊びに取り入れる姿があった。子ども達が興味を持った物を見つける喜びや好奇心を引き出して、自由に探求できる力を育みたいと思い、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ・地域の公園へ探索活動
- ・4歳児：4月～7月、1日につき1時間～1時間半程度、週1～2日
- ・5歳児：10月～1月、1日につき1時間～1時間半程度、週1～2日
- ・4歳児：23名／5歳児：23名

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・保育室に図鑑を用意する。
- ・自由に探求できるように一人一冊、小さい図鑑を持って様々な場所に探索活動へ行き、子どもの興味や好奇心を引き出す。
- ・4歳児は室内で図鑑を見ている際に子どもから発信があった。5歳児は、子どもの発達に見合った公園遊びの見直しを行い、歩く距離を伸ばすことにより初めて行く公園が増えた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

4歳児：図鑑に載っている植物を見つけると、「これと同じだね」と子ども同士で図鑑と植物を見比べる姿があった。また保育者が「この公園に咲いている花は図鑑に載っているのかな？」と話すと「このお花探したいな」と目を輝かせていた。「カブトムシを見つけない！」という友達の声を聞くと、「カブトムシは夏にならないとこないよ！」とカブトムシを飼ったことがある子どもが伝える姿があった。見つけた植物は、触ってみたり、匂いを嗅いでみたりする姿があった。積んでも良い植物をたくさん見つけると、お店屋さんごっこをしたり、アクセサリーに見立て、髪の毛に結ぼうと子ども同士で遊びを展開していく姿が見られた。

5歳児：初めて行った公園で「この葉っぱはなんだろう？」「これは何て言う花だろう？」と疑問を持つ子どもがおり、次回からポケット図鑑を持って探索活動に行くようにしたり、室内の植物図鑑を新しくしたりした。

4 歳児⇒



5 歳児⇒



<振り返りによって得た先生の気づき>

事前に図鑑を見ていたことで子ども達が、どの季節にどのような植物が咲き、どのような虫がいるのかと、その時の子どもの興味を事前に知ることができた。ポケット図鑑を持って出掛けると、すぐに同じものを見つけたり、「これは〇〇と似ているけどここが違う」など植物の種類の高さや、花びらの色や枚数の違いにも気付くことができおり、観察する力が付いてきているのではないかと感じた。自然物をじっくりと観察したり、触ったりした後は、ごっこ遊びに発展したり、「製作でこんなもの作れるかな？」など子ども達の方からアイデアが出た際には想像力の育みにもつながったと感じた。また、図鑑を持ち自分達で調べられる環境を設定したことにより、保育者に「これはなに？」と聞く前に、友達同士で調べて伝え合う姿が見られ、自主性が育ったように感じる。